

平成17年度 決算報告書

国立大学法人旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,529	5,529	0	
施設整備費補助金	172	208	36	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	12,477	13,485	1,008	
授業料、入学金及び検定料収入	609	605	△4	
附属病院収入	11,828	12,768	940	(注2)
雑収入	40	112	72	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	623	739	116	(注4)
長期借入金	1,527	1,527	0	
承継剰余金	89	61	△28	(注5)
目的積立金取崩	0	145	145	(注6)
計	20,450	21,727	1,277	
支出				
業務費	15,846	16,465	619	(注7)
教育研究経費	5,009	4,536	△473	
診療経費	10,837	11,929	1,092	
一般管理費	928	931	3	
施設整備費	1,732	1,768	36	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	623	650	27	(注9)
長期借入金償還金	1,437	1,433	△4	
計	20,566	21,247	681	
収入－支出	△116	480	596	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、補正事業としてアスベスト対策事業費が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。

(注2) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、患者数や手術件数の増により予算金額に比して決算金額が940百万円多額となっています。

(注3) 雑収入については、主として駐車場使用料収入の増により予算金額に比して決算金額が72百万円多額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して116百万円決算金額が多額となっています。

- (注5) 承継剰余金については、損害賠償金額が確定したことにより予算金額に比して決算金額が28百万円少額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった目的積立金を取り崩したことにより、145百万円決算金額が多額となっています。
- (注7) 業務費については、附属病院収入の増加により、診療経費が増加したため、619百万円の増となっています。
- (注8) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注9) 注4に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。